



沿革

- 1960年 Derendorf にあるライブニッツギムナジウム校舎を借りて、2 教室で日本語授業開始
- 1979年 小5、6の「日本語教室」の設置を決定
日本人学校内で「日本語教室」の名称で、小5の1学級9名でスタート
- 1980年 小6クラスを開設
- 1982年 中1クラスを開設
- 1983年 小5～中2の4クラスを開設
- 1984年 小5～中3の5クラスを開設
- 1987年 日本政府により補習授業校に認定
- 1988年 従来の「日本語教室」から「日本語補習教室」へと改称
- 1990年 週2回の授業から毎土曜日4時間授業制に変更
- 1991年 後期より、小6～中3は4校時目、選択授業
ドイツ地区補習授業校現地採用講師研修会幹事校として研修会を主催
- 1994年 第15回海外子女文芸作品コンクールにて学校賞受賞（1回目）
- 1996年 小4クラスを開設
- 1997年 ドイツ地区補習授業校現地採用講師研修会幹事校として研修会を主催
- 2000年 ドイツ地区補習授業校現地採用講師研修会幹事校として研修会を主催
- 2003年 「日本語補習教室」は「日本語補習校（Förderschule für Japankunde in Düsseldorf）」と改名
- 2005年 小3、4を対象とする準備クラスを新設し、複式授業を開始
- 2006年 デュッセルドルフ日本人学校 e.V. 理事会下部組織として、補習校運営を目的とした補習校運営委員会が発足
小4クラスを単独クラス化（準備クラス）小4～中3の7クラス編成
- 2007年 小1を新設
- 2008年 小1～中3の9学年9クラスを開設
- 2009年 創立30周年記念誌を発行
第30回海外子女文芸作品コンクールにて学校賞受賞（2回目）
- 2010年 ドイツ地区補習授業校現地採用講師研修会幹事校として研修会を主催
校名のドイツ語表記を（Japanische Ergänzungsschule in Düsseldorf）に変更
第31回海外子女文芸作品コンクールにて学校賞受賞（3回目）
- 2013年 第34回海外子女文芸作品コンクール学校賞受賞（4回目）

- 2015年 第36回海外子女文芸作品コンクール学校賞受賞（5回目）
- 2016年 第37回海外子女文芸作品コンクール学校賞受賞（6回目）
- 2017年 第38回海外子女文芸作品コンクール学校賞受賞（7回目）
- 2018年 第39回海外子女文芸作品コンクール学校賞受賞（8回目）
- 2019年 第40回海外子女文芸作品コンクール学校賞受賞（9回目）
- 2020年 創立30周年記念誌を発行
ドイツ地区現地採用講師研修会幹事校として、オンラインでの研修会を主催
第41回海外子女文芸作品コンクール学校賞受賞（10回目）
- 2021年 第42回海外子女文芸作品コンクール学校賞受賞（11回目）